

美しいサンゴ礁をこれからも楽しむために
ほんの少しの意識が、海の未来を変えていく

マリンレジャー事業者から
利用客への啓発

ダイビング等の事業者は以下の説明を十分に行いましょう。
利用客は説明をよく聞いて実践しましょう。

- サンゴのいる浅場を歩かない、フィンでサンゴを壊さない。
- ゴミを捨てない。海岸清掃等への支援、参加。



サンゴに触れないように泳ぐ



海岸清掃等への支援、参加

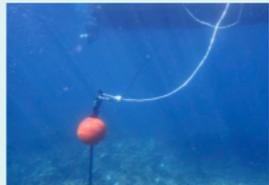
サンゴ礁に配慮するマリンレジャー
事業者を選びましょう

ダイビング等の事業者はアンカリング時に配慮しましょう。
利用客は、それらに取り組む事業者を選びましょう。

- 船を係留するために岩礁などに固定された専用のパイ(係留パイ)を使用
- サンゴを壊さないように海底をよく確認してアンカリングする



サンゴの多い岩へアンカーを落とさない



岩礁に固定された係留パイを利用
※設置には漁協等の関係者との調整が必要です。

サンゴ礁生態系への影響について、ほかに知っておくべきこと

サンゴにも人にも
やさしい日焼け対策

日焼け止めに含まれる一部の化学物質はサンゴへ影響を及ぼすことが指摘されていますが、まだ分かっていないことがたくさんあります。自分自身の肌を守ることも大切です。健康を守りながらサンゴへのリスクを減らす工夫の一例として、ラッシュガード等の肌を露出しない衣服や帽子などの着用が推奨されます。



人間が安易に餌付けをしな
生き物たちを優しく見守ろう

餌付けは、魚類の食性や行動を変えたり、種の多様性の低下を招くなど生態系のバランスを乱す恐れがあります。国際的なダイビング等ガイドライン(GreenFins)*でも禁止事項の1つです。
※県内では恩納村で進められています。



今すぐできること
サンゴ礁保全のために

持続可能なマリンレジャーの取り組み

Sustainable Marine Leisure

マリンレジャーで
私たちができること

サンゴ礁は、大規模な白化現象などにより

危機的な状況にあります。

多くの生物を育む、美しいサンゴ礁を

これからもマリンレジャーで楽しむために

一人ひとりが"できること"があります。

まずは知るところから

サンゴ礁保全をはじめませんか？

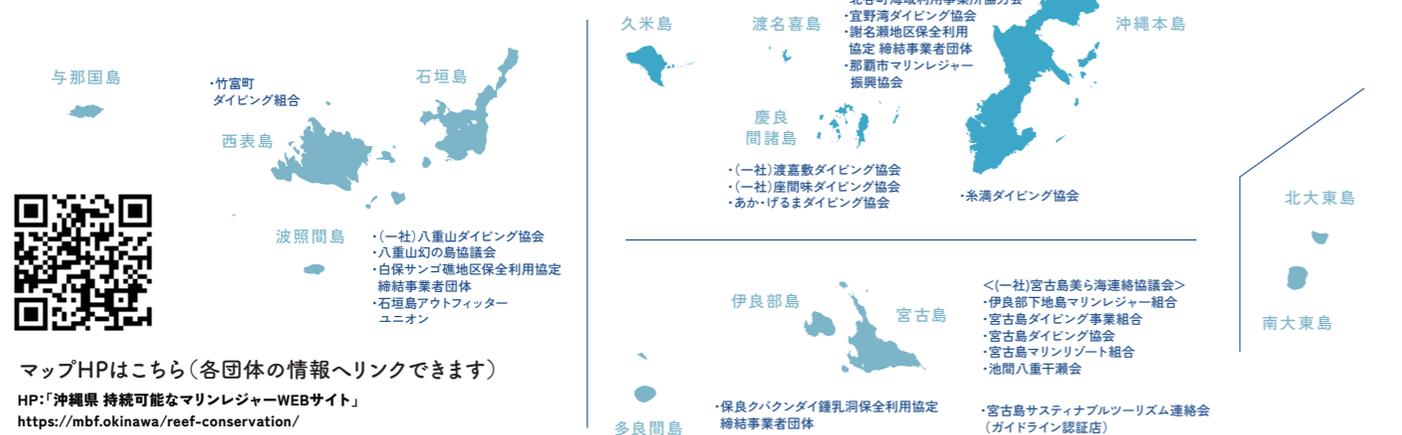
地域に根差したマリンレジャーを進めるためのダイビング事業者等による協力

マリンレジャー事業者団体マップ

自然環境や地域環境へ配慮することは、持続可能な観光を目指す上で必要不可欠です。

県内の各地域には、マリンレジャー事業者が連携・協力し、地域関係者との調和をはかっている団体があります。マリンレジャー事業者団体に所属しているショップを選び、環境にも地域にも望ましい選択をしましょう。

※ここでは主にダイビング事業者等で構成される団体を掲載しており、ほかの種類のマリンレジャー団体は含めていません。



マップHPはこちら(各団体の情報へリンクできます)

HP:「沖縄県 持続可能なマリンレジャーWEBサイト」
<https://mbf.okinawa/reef-conservation/>

沖縄を訪れる観光客の約3割がダイビングなどのマリンレジャーを目的に来訪していると言われており、2025年の沖縄県の観光客数は、コロナ禍前を上回る水準まで回復しました。特に、利用客が集中する人気のダイビング・シュノーケルポイントでは、過剰利用や不適切な利用によって、サンゴを壊してしまう事例も報告されています。また、マナー違反によるゴミ投棄などによって、サンゴやサンゴ礁にすむ生き物たちに影響が及んでいます。



ゴミを捨てない。特にプラスチックゴミは分解されにくくマイクロプラスチック問題につながります。



浅場のサンゴを足で踏まない。フィンや手で触れてサンゴを壊さない。



船のアンカー(いかり)でサンゴを壊さないよう配慮する。それらに取り組む事業者を選ぶ。

※本ページは令和7年度沖縄県サンゴ礁保全再生活動促進事業(沖縄県環境部自然保護課)で作成されたものです。

サンゴにやさしい
行動の例

